インタビュー　飛翔のレシピ 42

観光で訪れた自分が、次の年には当事者に。そして登別がますます好きになっている



井原　涼太（いはら　りょうた）さん　**登別市総務部総務グループふるさと納税担当**

1999年、大阪府枚方市生まれ。関西大学社会安全学部安全マネジメント学科卒業。大学時の研究テーマは『巨大地震発生時の新幹線の安全性と避難誘導の課題』および『鉄道事業における計画運休の現状と課題』。大学卒業後、鉄道会社に就職し北海道札幌市で勤務。2023年４月に登別市役所入庁し、観光担当として３年間勤務したのち、2026年４月よりふるさと納税担当となる。

北海道に移住（U・I・Jターン）して、地域を巻き込む取り組みをする輝く人を紹介するインタビュー。お話を伺うのは、北海道各地を探訪し想いを形にする人との出会いをつなぐ、地域力創造アドバイザー（総務省）のかとうけいこさん。42回目となる今回は、北海道で働きたいという強い想いを実現するため登別市にIターンし、観光担当を経て、現在はふるさと納税担当として最前線に立つ井原涼太さんにお話を伺いました。

「登別市一本」で採用試験に挑んだそうですね

もちろん、登別市一本で挑みました。旅行が好きで、大学時代の４年間で47都道府県すべてを回りました。そのなかでも、北海道の雄大な自然や海の幸・山の幸の感動的なおいしさに惹（ひ）かれ、「いつかここで働きたい」と思うようになりました。大学卒業後、東京に本社のある鉄道会社に入社。北海道での配属を希望し、札幌市で勤務したんです。

休日は北海道の各地を巡る日々を送り、魅力にますます惹かれていきました。そして訪れた場所のなかでも、特に魅力に圧倒されたのが登別市でした。多種多様な泉質を楽しめる登別温泉をはじめ、活火山が噴火したときの爆裂火口跡である地獄谷や大湯沼から溢（あふ）れ出した温泉で足湯が楽しめる「大湯沼川天然足湯」など、これまでの人生で感じたことのない未知の体験に

心を奪われました。そして次第に登別市で働きたいと思うようになり、公務員は当初考えていなかったのですが、旅と登別市が好きな自分が次の仕事を探すなかで観光協会や市役所の観光担当の仕事を調べるようになりました。そして11月に登別市役所の採用募集を見つけ、迷わず申し込んだのを覚えています。

地域の人に仲間と認めてもらうのに時間がかかりましたか？

登別市で実際に暮らしてみると、ゆったりとした時間の流れが心地よく感じられました。一方で、「君が大阪出身の新人か」と、物珍しそうな感じで少し距離を置かれたかな？と感じる場面も時々ありましたね。また仕事の面でも、登別市に関する観光客からの問い合わせに十分答えられないことがあり、悔しいというか情けなくて…。登別市に詳しくなりたい、魅力を多くの人に伝えたいという一心で、積極的に地元のイベントやお祭りに参加し、登別市で活躍されている企業や地元の方々とコミュニケーションを取り、登別市に関するさまざまなことを勉強させていただきました。イベントやお祭りに顔を出すのが当たり前になっていくにつれて、次第に「いつも来てくれるね」と声をかけてもらえるようになっていき、地域の方々に少しずつ知ってもらえてきたのかなと感じる機会も多くなっていきました。

１年で大きな変化があったそうですね

登別市役所への入庁前、一人の観光客として登別温泉湯祭りに訪れた際に、雪が激しく降るなか、下帯姿の男たちが激しくお湯を掛け合う「源泉湯かけ合戦」を見たときの衝撃は忘れられません。大阪出身の私にとって、北海道の冬は厚着で外出しても耐え難い寒さがありました。しかし、そんな氷点下の寒さのなか、下帯姿でお湯を掛け合う男たちの勇姿を見たときには、その圧倒的な熱気と迫力に言葉を失いました。そして、その驚きから１年後、まさか自分が観光担当の新規採用職員として、あの「源泉湯かけ合戦」を“担う側”になっているとは、当時の私は思いもしませんでした。実際参加してみると正直なところ予想どおり寒いし体が痛いです…。しかし、豊富な湯量と多彩な泉質を誇る「湯」への感謝と、湯が尽きることのないよう繁栄と無病息災への祈りを込めた祭りとして実施されている歴史あるお祭りなので、これからも毎年欠かさずに参加したいです！

今後について教えてください

登別市のふるさと納税は、全国の温かい寄附者様の応援のおかげで、2025年に過去最高の15億円に到達しました。この大きな成果を励みに、私たちは登別市の魅力をさらに多くの方々へ届けていきたいという想いを強く持っています。11月には千葉・幕張および神奈川・横浜で開催される大規模なふるさと納税イベントに出展します。イベントに足を運んでくださる皆様に、登別市の最高の魅力をお届けできるよう、万全の準備をして臨みたいと思っています。

また、日々の活動のなかで嬉しい出来事もありました。先日、市役所を訪問された方に、「井原さんですよね、YouTubeで大阪出身と知りました！頑張ってください」と声をかけていただきました。職員採用のYouTubeをご覧になっていた方との思いがけない出会いに、驚き恥ずかしさもありましたが、それ以上に温かい励ましをいただき、大きな力を得ることができました。これからも失敗を恐れず新しいことに挑戦し、地域の方々と深く関わりながら、登別市の魅力を自分の言葉でもっともっと語れる自分になれるよう、一歩一歩前進していきます。

（2026年９月取材）

インタビュー後記

井原さんと出会ったのは、2023年の秋でした。ガッツがあり明るいオーラ―を身にまとった彼を見た瞬間、凄い新人君が登別市役所にいるなと驚いたことを覚えています。人財育成事業で、国内各地から経営者含むビジネスパーソンに合宿してもらう事業を手伝ってもらい、一参加者としてもワークに参加してもらったときにも、臆することなく意見交換をする姿が目立っていました。これからも、自分の言葉で登別市の魅力をアピールすることを続けてくださいね。

かとう　けいこ　㈱まちづくり観光デザインセンター代表